

高浜地区振興会 広報

はと 九鳥の峯 みね

No.21
2011
10.1

平成23年10月1日



主な内容

精霊流し	2P
フィールドワーク	2P
高浜ぶどうと朝市	2P
高小ソフト	3P
高小運動会	3P
敬老会	3P
奉仕作業	3P
津波避難訓練	4P
ウミガメ	4P
編集後記	4P

高浜八幡宮秋季例大祭

9月11日。秋晴れのまぶしいくらいの陽ざしのなかに、高浜八幡宮秋季例大祭が行われました。秋の例大祭は、収穫に感謝し五穀豊穣を祈る古くからの神事です。

高浜八幡宮での神事にひきつづき、午後1時に御立ち、御輿・鳥毛・太鼓・獅子舞などの神幸行列が、残暑厳しいなか秋葉神社をはじめ7ヶ所の御旅所へ順次練り歩き、奉納されました。

精靈流し



高浜港へ向かう精靈舟



焼香のようす



ケ俱楽部のメンバーには色々な連中がいるなど感じて、参加して、高浜にはこんな発想をしてくる人たちはいないだろうと考えていたら、どんどん「スギダラ」の話術にはまり、おとなしかつた私もつい熱く「高浜の偉大な上田家7代庄屋宜珍(よしうず)翁」の話をいつの間にか、語っていました。そして、最終日の発表の時は結局7代目宜珍翁をどうやって世の中に発信していくか、色々検討した結果、それは「誰でもわかり易いなら紙芝居だ」となり、最後には、それは面白い仕上がりに。大盛況で締めくくりました。今夏、これは次に繋がるなど確信し、例年にならない高浜は暑い3日間ではありましたが、大変楽しい有意な時間でした。

今年は、例年にないくらいの雨で「精靈流し」が出来るのか」と、その開催が危ぶまれるほどでした。しかし、15日の夕方から精靈舟を担つて行く頃には、雨もあがり、何とか会場に集合出来、無事に開催されました。初盆を迎えた家や関係者の方々また実行委員の皆さんにとっては今年は本当に大変だったと思います。天候には恵まれませんでしたが、おかげで多くの方々に見送られた初盆を迎えた故人の靈も、極楽浄土へと安心して向かわれたことでしょう。



高浜フィールドワーク

高浜
フィールドワークに
参加して

田中 光徳



今年2月5日に高浜シンポジウムが開催され、そのなかで掘り起こされた地域の宝(題材)をもとに地域振興策を検討しようということです。月16～18日の3日間、高浜地区全域を活動区域として開催しました。参加者は、九州大学大学院教授や学生、JR九州の社員や一般参加者を含む「日本全国スギダラケ俱楽部」、高浜地区振興会のプロジェクトメンバーや賛同者により実施されました。

今回検討されたテーマ
○歴史的建築・文化財まちづくり
○プロダクトデザイン
(ものづくり)

○地域社会・まちづくり
○地域の宝さがし
○プロダクトデザイン
(公共サイン)



高浜ぶどう 青空市

朝夕は涼しげな空気が漂い、実りの季節を迎えました。現在、振興会で復活に力を注いでいる高浜ぶどう。その元となっている1本の樹は今年も多くの実をつけ、収穫の時期を迎えました。8月中旬に少し味見をした際はまだ酸味が強かつたものの、収穫期となつた9月初旬には十分な甘味をつけました。収穫された高浜ぶどうは、9月4日の青空市にて20袋限定で販売されました。

高小 ソフト優勝

小体連ソフト優勝

7月23日第23回天草郡市小体連ソフトボール大会が開催されました。高浜小は浦和小（有明町）会場で参加した5チーム（高浜小、桺宇土小、浦和小、本渡南B、志柿小）と熱戦を繰り広げました。酷暑の中での試合でしたが、子ども達の懸命なプレーに会場は盛り上がり、対戦した桺宇小に勝利の後、強豪地元浦和小に熱戦の末引き分け、本渡南小Bとの優勝決定戦で高浜小が4対1で逃げ切り、優勝を決めました。



高小 運動会

高浜小学校運動会

仲間を信じて! 【高浜小学校運動会】



9月18日高浜小学校運動会が開催されました。夏休み後の9月6日から、子ども達は残暑の中、頑張つて練習に励んできました。この日は台風の影響で天候が心配されましたが、開会式後に雨も止み、数種目後に体育館から運動場に移動し開催しました。



高浜地区 敬老会

9月19日(祝)高浜公民館において平成23年度高浜地区敬老会が開催されました。

式典や金婚者表彰に引き続き、演芸の部が行われました。南海荒波太鼓の演奏を皮切りに、認知症の予防講座。高浜小学校の生徒による童話発表とヨサコイソーラン。牛深から参加された3名による日本舞踊。地元から、江浦シングルさんによる踊り「忍ぶ雨」と四十雀会による「ひよっこ踊り」が披露され、会場となつた公民館は大いに盛り上がりました。



奉仕作業

敬老の日を約1週間後にひかえた9月11日の早朝。特別養護老人ホーム「春光苑」において生活部主催の奉仕作業（草刈清掃）を行いました。作業には総勢30名ほどの参加があり、日差しが強くなる前の約1時間で作業を完了しました。



温かい善意のご寄付
ありがとうございます

高浜地区

(平成23年9月1日現在)

人口 1,417人

男 649人

女 768人

世帯数 681戸

高齢化率(65才以上)

606人(42.77%)



寄付金は高浜地区振興会の活動に有効に活用させていただきます。

一般寄付

広報郵送料

峰 敏治様

香典返し

江浦 博喜様

(故・シカノ様) 諏訪

尾崎 國幸様

(故・鹿造様) 大野

松本 和子様

(故・積治様) 宮の前

津波避難訓練

7月31日(日)午前7時より高浜地域を対象とした津波避難訓練が行われました。この訓練は、振興会及び自主防災会の主催で、今年3月に発生した東日本大震災の津波被害を教訓に計画・実施されました。

午前7時に天草灘で地震津波が発生したと想定し、サイレンが吹鳴されました。その後、各地区の避難箇所に避難を開始。避難場所へは消防団の誘導により、約450名の住民の方が避難しました。各地区避難場所へ集合した後、場所を総合運動公園に移し、西天草分署職員より津波対応の説明が行われました。

「避難時は、とにかく高い山などに避難する、不用意に戻らないことが大切です」との説明。3月に発生した規模の津波が高浜へ押し寄せた場合、大庵地区まで達するとのことです。

初めての訓練でしたが、参加者には本番さながらに、非常袋やペットボトルの飲料水を持参している方が見受けられました。「備えあれば憂いなし」です。



前号にて、ウミガメの産卵をお知らせしました。なんと今年、ウミガメの上陸は14回を記録。7回の産卵が確認されました。7月20日には昼間に上陸するカメを目撃しました。体長は約1m。上陸箇所に砂が無かつたためすぐに帰つて行きましたが、その日は3度の上陸が確認されました。毎年数回、上陸と産卵が確認されていますが、今年は特に上陸回数が多く、産卵された卵の数も838個に上がっています。観察員の宮口氏も「こんなに上陸や産卵の回数が多いのは初めて」とのこと。

8月初旬、今年最初に産卵されたカメの赤ちゃんが海へ旅立ちました。



9月6日に底引網にかかっていたものです。「イザリウオ」かもしれません。ちょっとグロテスクですね。高浜の沖合にもこんな魚がいるとは……。

編
集
後
記

「遠観山里色」とおこさんりのしきをみる

この文言をどこかで目にされた方もいらっしゃると思います。これはお寺の掲示板に書かれていた文言です。近くにいた自然だと思うことが、遠くから離れてみると改めてその良さが分かるというものです。

今まで、当たり前の様に考えたり思つたりしていた事が、すなわち家族・知人・故郷等が、こんなにすばらしいものだったのかと改めて実感出来るというものです。

掲示板の前でほんの数分でしょうか、立ち止まって「そうだな、そっだよ」と自分自身に言い聞かせてしましました。

家族の有り難さが身に染みて、改めて痛感させられました。ところで、珍魚をご紹介します。